

6年		①	②	③	④	備考
単元名	教材名					
	(扉詩)					
	目次					※目次は、各分冊に収録している教材のみを掲載。
	この教科書で学習するみなさんへ					
	国語の学びを見わたそう					
言葉の準備運動	つないで、つないで、一つのお話					
詩を楽しもう	準備 高階紀一					
楽しく書こう	伝わるかな、好きな食べ物 続けてみよう					
視点や作品の構成に着目して読み、印象に残ったことを伝え合おう	帰り道 森 絵都					
本は友達	公共図書館を活用しよう					
	漢字の形と音・意味					
	春のいぶき					
インタビューをして、自分の考えと比べながら聞こう	聞いて、考えを深めよう					
	漢字の広場①					
主張と事例の関係をとらえ、自分の考えを伝え合おう	[練習] 笑うから楽しい 中村 真 時計の時間と心の時間 一川 誠 [情報] 主張と事例					
	文の組み立て					
表現を工夫して短歌を作り、読み合おう	たのしみは					
	天地の文 福澤諭吉					
	[情報] 情報と情報をつなげて伝えるとき					
構成を考えて、提案する文章を書こう	デジタル機器と私たち					
	夏のさかり					
本は友達	私と本 星空を届けたい 高橋真理子					
詩を味わおう	せんねん まんねん まど・みちお 名づけられた葉 新川和江					
対話の練習	いちばん大事なものは					
生活の中で読もう	インターネットでニュースを読もう					
書くときに使おう	文章を推敲しよう					
	漢字の広場②					
作品の世界を想像しながら読み、考えたことを伝え合おう	やまなし 宮沢賢治 [資料] イーハトーヴの夢 畑山 博					
	漢字の広場③					
	熟語の成り立ち					
	秋の深まり					
目的や条件に応じて話し合おう	みんなで楽しく過ごすために [コラム] 伝えるにくいことを伝える					
	話し言葉と書き言葉					
	古典芸能の世界 狂言「柿山伏」を楽しもう					
筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう	『鳥獣戯画』を読む 高畑 勲 発見、日本文化のみりよく					
	カンジー博士の漢字学習の秘伝					
	漢字の広場④					
物語を読んで考えたことを、伝え合おう	ぼくのブック・ウーマン ヘザー=ヘンソン 作 藤原宏之 訳					
相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう	おすすめパンフレットを作ろう					
	冬のおとずれ					
詩の楽しみ方を見つけよう	詩を朗読してしようかいしよう					
書くときに使おう	知ってほしい、この名言					
	日本の文字文化 [コラム] 仮名づかい					
	漢字の広場⑤					
筆者の考えを読み取り、テーマについて考えを述べ合おう	「考える」とは 考えることとなやむこと 鴻上尚史 考えることを考え続ける 石黒 浩 考える人の行動が世界を変える 中満 泉					
	使える言葉にするために					
言葉について考えよう	日本語の特徴					
書き表し方を工夫して、経験と考えを伝えよう	大切にしたい言葉					
資料を使って、みりよく的なスピーチをしよう	今、私は、ぼくは					
登場人物の生き方について、考えたことを話し合おう	海の命 立松和平					
	漢字の広場⑥					
卒業するみなさんへ	中学校へつなげよう 生きる 谷川俊太郎 人間は他の生物と何がちがうのか 福岡伸一					
付録	(【扉】付録)					
	「たいせつ」のまとめ					
	物語の世界を作る表現					
	詩から表現の工夫を学ぶ					
	平和のとりでを築く(説明する文章) 大牟田 稔					
	言葉の交流					
	課題解決に向けて考える——プログラミング的思考					
	本の世界を広げよう					
	六年間に習う漢字					
	この本で習う漢字					
	伝え合うための言葉					
	学習に用いる言葉					
言葉の宝箱						
図を使って考えよう						